



各位

平成14年10月30日

本店所在地 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル
 (登記上は東京都千代田区丸の内3-2-3)
 会社名 グッドウィル・グループ株式会社
 (コード番号: 4723 店頭上場銘柄)
 代表者 代表取締役会長 折口 雅博
 問合せ先 常務取締役管理本部長兼会長室長 金崎 明
 電話番号 03 - 3405 - 9228

四半期の当社及び当企業グループの事業進捗状況について

当社の第9期第1四半期(平成14年7月1日から平成14年9月30日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

1. はじめに

当四半期におけるわが国経済は、輸出が増加し、設備投資は下げ止まりつつあり、緩やかな景気回復傾向にあったものの、個人消費は低調に推移し、公共投資が減少を続けており、国際政治情勢の不透明感から、輸出及び設備投資が今後も持続的に増加するという見方には慎重にならざるをえず、景気全体としてみると、回復の実感に乏しい状況で推移いたしました。

当社は、企業理念に『拡大発展』『社会貢献』『自己実現』を掲げる設立8年目のベンチャー企業であり、本業の軽作業請負事業を行う一方でグループ3社を統括する持株会社でもあります。当企業グループは、人材に関するあらゆる支援ビジネス(総合人材サービス)を行っており、『アウトソーシング』『EAP(カウンセリング)事業』『介護・医療支援』分野で多角的に事業展開を図っております。

2. 当社における事業の進捗状況

(1) 第1四半期の個別売上高の状況

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	15年6月第1四半期	14年6月第1四半期	増減率
		自平成14年7月1日 至平成14年9月30日	自平成13年7月1日 至平成13年9月30日	
請負作業	キャストイング作業	6,759,052	4,968,684	36.0%
	コンストラクション作業	366,286	64,842	464.9%
	セールスプロモーション作業	284,522	201,433	41.2%
	テクニカルサポート作業	130,932	117,262	11.7%
	オフィスサポート作業	78,868	37,270	111.6%
	その他	149,493	7,631	1,859.0%
合計		7,769,155	5,397,124	43.9%

- (注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2.当社が行う請負業務は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。
 3.品目区分について
 請負作業・キャストイング作業 ... 軽作業全般の請負作業
 請負作業・コンストラクション作業 ... 建設、内装現場の請負作業
 請負作業・セールスプロモーション作業 ... 店頭での販売促進等の請負作業
 請負作業・テクニカルサポート作業 ... マルチメディア関連の請負作業
 請負作業・オフィスサポート作業 ... 一般事務、オペレーター関連の請負作業
 請負作業・その他 ... 市場調査・競合調査、データ入力等の請負作業
 4.売上高の数値は、未監査であります。

(2) 第1四半期の個別損益計算書

(単位：千円、単位未満切り捨て)

科目	15年6月第1四半期 自平成14年7月1日 至平成14年9月30日		14年6月第1四半期 自平成13年7月1日 至平成13年9月30日		前年同期比増減	
	(A)		(B)		金額(A)-(B)	増減率
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	7,769,155	100.0%	5,397,124	100.0%	2,372,031	43.9%
売上原価	5,195,732	66.9%	3,460,918	64.1%	1,734,814	50.1%
〔売上総利益〕	2,573,423	33.1%	1,936,206	35.9%	637,217	32.9%
販売費及び一般管理費	1,792,057	23.1%	1,529,148	28.3%	262,909	17.2%
〔営業利益〕	781,366	10.1%	407,058	7.5%	374,308	92.0%
営業外収益						
受取利息	8,276	0.1%	10,259	0.2%	1,983	19.3%
その他	35,798	0.5%	69,892	1.3%	34,094	48.8%
営業外費用						
支払利息割引料	29,727	0.4%	18,312	0.3%	11,415	62.3%
その他	477	0.0%	9,862	0.2%	9,385	95.2%
〔経常利益〕	795,237	10.2%	459,036	8.5%	336,201	73.2%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第1四半期の実態} - (B)\text{前年第1四半期の実態}}{(B)\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、未監査であります。

3. 当企業グループにおける事業の進捗状況

(1) 第1四半期の連結売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	15年6月第1四半期	14年6月第1四半期	増減率
		自平成14年7月1日 至平成14年9月30日	自平成13年7月1日 至平成13年9月30日	
セグメント	請負事業	8,036,648	7,124,257	12.8%
	人材関連事業	382,594	470,831	18.7%
	投融資事業	-	67,123	-
	介護・医療支援事業	4,863,120	3,359,392	44.8%
	合計	13,282,362	11,021,605	20.5%

- (注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一樣ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。
3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。
4.セグメント別区分について
 請負事業 ... 軽作業(当社及び当社子会社株式会社ソア)
 人材関連事業 ... 人材派遣、斡旋(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)、ドライバー派遣(当社子会社ソア)
 介護・医療支援事業 ... 訪問介護、訪問看護(当社子会社株式会社コムスン)
 なお、平成14年6月期第1四半期に区分掲載されている投融資事業については、平成14年6月期第4四半期から当該会社が連結対象ではなくなったため記載しておりません。
 また、介護・医療支援事業については、前期まで医療・介護事業として記載しておりましたが、当期より名称を変更いたしました。
5.売上高の数値は、未監査であります。

(2) 第1四半期の連結損益計算書

(単位：千円、単位未満切り捨て)

科目	15年6月第1四半期 自平成14年7月1日 至平成14年9月30日 (A)		14年6月第1四半期 自平成13年7月1日 至平成13年9月30日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	13,282,362	100.0%	11,021,605	100.0%	2,260,757
売上原価	8,851,243	66.6%	7,261,260	65.9%	1,589,983	21.9%
〔売上総利益〕	4,431,119	33.4%	3,760,344	34.2%	670,774	17.8%
販売費及び一般管理費	3,364,626	25.3%	3,041,173	27.6%	323,452	10.6%
(うち連結調整勘定償却)	(94,396)	0.7%	(21,142)	0.2%	(73,254)	346.5%
〔営業利益〕	1,066,492	8.0%	719,170	6.6%	347,321	48.3%
営業外収益						
受取利息	3,924	0.1%	1,216	0.0%	2,707	222.6%
受取配当金	-	-	48,422	0.4%	48,422	-
その他の	13,160	0.1%	28,537	0.3%	15,377	53.9%
営業外費用						
支払利息割引料	41,008	0.3%	33,660	0.3%	7,348	21.8%
その他の	646	0.0%	12,512	0.1%	11,866	94.8%
〔経常利益〕	1,041,922	7.8%	751,175	6.8%	290,747	38.7%

(注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2. 前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第1四半期の実態} - (B)\text{前年第1四半期の実態}}{(B)\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

(3) 株式会社コムスンについて

a) ㈱コムスンの当期連結業績に与えた影響について

㈱コムスンは、平成13年6月期の期初から拠点の統廃合及び拠点毎の収益改善努力並びに営業強化などを行いました。この結果、平成13年4月に単月経常利益を計上することができました。

前期から、拡大発展を目指す新たな局面を迎えております。具体的には、「攻撃は最大の防御」のスローガンのもと、他事業者への営業を含めてこれまで以上に営業強化をはかり、あわせて教育研修本部を設置し、量的な拡大のみならず、介護の質的な向上による顧客満足度アップにも努めております。

当四半期は、引続き急速に拡大する訪問介護サービスに対する需要に対応するため、平成14年9月末までに63拠点を増加させ413拠点とし、サービス提供エリアの拡大いたしました。当期においては先行投資を経営課題とし、前期比100拠点の増加を計画しております。また、ケアマネージャー及びホームヘルパーの採用・育成、CRM（カスタマーリレーション）室によるお客様の声にこれまで以上に耳を傾け、引続きサービスの質の向上にも努め、規模の拡大とサービスの質の向上に注力いたしました。その結果売上高は、前期第1四半期に比較し約1,619百万円増加し、経常利益は、約134百万円増加いたしました。

(単位：千円)

	売上高	経常利益
前期第1四半期 (平成13年7/1～平成13年9/30)	3,243,749	200,257
前期第2四半期 (平成13年10/1～平成13年12/31)	3,566,009	201,027
前期第3四半期 (平成14年1/1～平成14年3/31)	3,764,646	190,405
前期第4四半期 (平成14年4/1～平成14年6/30)	4,384,980	326,151
当期第1四半期 (平成14年7/1～平成14年9/30)	4,863,120	334,813

b) ㈱コムスンのサービス提供顧客数及び顧客単価の推移

当期及び平成14年7月における、コムスンの「サービス提供顧客数」と「顧客単価」の推移は以下の通りであります。

	サービス提供顧客数(人)	前月比(人)	顧客単価(円)	前月比(円)
9月	15,526	+361	64,201	-1,351
10月	16,244	+718	67,030	+2,829
11月	16,707	+463	64,492	-2,538
12月	17,238	+531	63,718	-774
1月	17,361	+123	62,081	-1,637
2月	17,563	+202	60,999	-1,082
3月	18,404	+841	65,887	+4,888
4月	19,206	+802	66,176	+289
5月	20,014	+808	67,433	+1,257
6月	21,015	+1,001	65,084	-2,349
7月	22,259	+1,244	68,607	+3,523
8月	23,072	+813	66,297	-2,310
9月	23,996	+924	64,158	-2,139

なお、2002年7月より自治体からの委託分も含めております。